

研修だより

No.9

公開研究会お疲れ様でした♪

11月20日(木)に、第15回公開研究会が実施され、低・中・高・特支ブロックからそれぞれ1本、合計4本の授業が公開されました。どの授業も子どもが主役になれるよう、また、研究の視点を意識し工夫されたものでした。成果や課題をまとめましたので、今後の授業づくりに生かしてください。授業者の先生、お疲れさまでした！

低学年ブロック

1年1組 平岡学級 算数科 単元「ひきざん」



視点1 個人目標とゴールまでの道筋

- ブロックや図などが選択できてよかった。それぞれで考えられていた。
- 自分で選択して取り組むことで自主性や意欲につながった。
- 個人目標の設定。目的意識をもって取り組んでいた。
- △子ども達はめあてを意識できていた？途中で確認することなども必要であったかも。
- △新しい計算の仕方について自然発生的に生み出すのが難しい。



視点2 できた！わかった！の実感と学ぶ喜び

- 考える時間、交流の時間、発表の時間の確保で主人公感 up！
- 振り返りで自己評価し、客観視できている。
- △新しい計算の仕方のよさを全体の学びの中で、みんなが納得することができていたのか。
- △一生懸命書いたものがどうやらあっていそう、違いそう、というのを伝える場面があるとよかった。

授業全体を通して

- 主体性・学ぶ課題を把握する場面で、子どもから今日の課題となる言葉が出ていた。
- 具体物を使って操作することで、全員が今日の問題を理解していた。
- 自分の考えを何らかの形で表現することができていた。
- 雰囲気よさ、チャイムスタートなど、普段の学級経営の成果が出ていた。
- ホワイトボードを使用していた子が「残りが黒」「取ったのが赤」としていたのがわかりやすかった。普段からの積み重ねを感じた。
- △なぜ新しい計算が必要なのか、**学習の必要感**があるとさらによい。

中学年ブロック

3年1組 常陸学級 社会科 単元「火事からくらしを守る」



視点1 個人目標とゴールまでの道筋

△子どもが主人公ということで、どこまで子どもにゆだね、どこまで教師が進めるか悩んだ。

△本時の中でゴールまでの道筋を持たせるポイントは？

△個人目標が、単元を通してなのか、1時間あたりのゴールなのか。毎回同じことを確認していくのかがわかりづらい。

視点2 できた！わかった！の実感と学ぶ喜び

○振り返り場面では、みんなで学んでいる様子が伝わった。

○本時の最後に気になること(次時以降につながること)がさらにできたのは成果である。

△たどり着きたいまとめがあるのであれば、それにたどり着くような展開にする必要がある。

△子供の主体性を大事にしながらも、その収束のさせ方に課題がある。

授業全体を通して

○クイズ形式の導入がよかった。子どもの興味を引くことができていた。

○資料の提示の仕方がよかった。 ○ロイロノート子どもたちが使いこなしていた。

○仲間分けがよかった。

△課題が子どもにとって明確になっていなかった。何を学習するのかを明確にするとよかった。

△どんなグループ分けにするのか、グループ分けが次の学習内容につながる分け方でもよかったかも。

△仲間分けとまとめがつながっていない。課題が仲間分けやまとめにつながるようにするとよかった。

指導主事より

低学年ブロック

- ・具体物のケーキに日常生活とのつながりが感じられた。
- ・単元の評価基準、本時の目指す子ども、学習課題・学習活動まで、ぶれることなく考えられていて、ゴールまでの道筋を意識して取り組んでいた。
- ・協働の場面では、児童が自分の考えと比較しながら参加していた。取り上げ方もよく考えられ、児童の理解につながった。
- ・めあてを3つの中から選んだが、今日の場面では「自分で考える」「伝え合う」。次時で「問題を解く」意欲をもたせてもよかった。
- ・振り返り「わかめ」の取組がよい。今回はなかったが、ぜひ**文字言語で振り返りをする場面**をつくって児童の見取りを。

中学年ブロック

- ・子どもたちへの**課題意識と意欲付け**がよかった。ロイロノート上に丸をつける簡単な操作で、意欲を生かして活発に活動していた。
- ・学習班の交流の様子が良かった。はじめは断片的な気付きの交流から、段階的にそれぞれの考えが言語化され、有意義な交流ができていた。
- ・子どもにつけさせたい力と、単元の見通しをより明確にもつことが重要。
- ・教材との出会いを大切に。自身の住む地域を題材にして、社会的事象が身近な事柄になると、もっと学びが深まる。